

平成29年10月26日

世界的な社会問題となりつつある「薬剤耐性(AMR)」について
正しい知識と理解を深める機会を創出

第1回「薬剤耐性(AMR)あるある川柳」 11月1日(水)より公募開始

<http://amr.ncgm.go.jp/senryu>

最近抗菌薬が効きにくい「薬剤耐性」(AMR)をもった細菌が世界的に増えており、大きな社会問題になっています。国立国際医療研究センター病院AMR臨床リファレンスセンター(厚生労働省委託事業)は、その薬剤耐性(AMR)に関する正しい知識と抗菌薬・抗生物質の適切な使用方法やAMR対策について一般市民の方々に理解を深め、考えていただく場の創出として、第1回「薬剤耐性(AMR)あるある川柳」の公募を、来る11月1日(水)より12月20日(水)まで受付ます。



薬剤耐性(AMR)とは、病原体が変化して抗菌薬・抗生物質が効かなくなる問題です。このまま対策を行わないと、2050年には1,000万人(3秒に1人※)の死亡が想定され、現在のがんによる死亡者数を上回ることが指摘されています。※英国薬剤耐性に関するレビュー委員会(オニール委員会)第一次報告(2014年12月)

AMR臨床リファレンスセンター(厚生労働省委託事業)は、薬剤耐性(AMR)対策に取り組むため2017年4月に設立しました。一般市民の皆さんと医療従事者の方々にAMR対策に関する必要な知識・情報を広く、わかりやすく伝えることを目的に啓蒙・啓発活動を展開しています。

今年、世界では11月13日～19日を「世界抗菌薬啓発週間」、日本では11月を「薬剤耐性(AMR)対策推進月間」と位置付け、啓発活動をすすめます。その啓発活動の一環として、第1回「薬剤耐(AMR)あるある川柳」の公募を行うことといたしました。

薬剤耐性(AMR)について、みなさん自身のこととして関心をもっていただくため、「ついついしてしまうこと」「知らなかったこと」「口ずさんでしまう」「ある!ある?」等、共感できる、感じられる内容を川柳として詠んでください。

詳しくは、AMR啓発情報サイト(<http://amr.ncgm.go.jp/senryu>)をご覧ください。

▼「薬剤耐性(AMR)あるある川柳」応募要項は次頁参照

<本件に関する報道関係者からのお問合せ先>

AMR臨床リファレンスセンター広報事務局 担当：小石、佐藤、木下
TEL：03-6427-1627 FAX：03-6730-9713 E-Mail: info@kartz.co.jp

Press Release

国立国際医療研究センター病院
AMR臨床リファレンスセンター



第1回「薬剤耐性(AMR)あるある川柳」応募要項

主 催：国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院 AMR臨床リファレンスセンター

タイトル：第1回「薬剤耐性(AMR)あるある川柳」

入 賞：最優秀賞（金賞）×1名 賞状と賞品
優秀賞（銀賞）×2名 賞状と賞品
入選（佳作）×10名 賞状と賞品

応募規定：

- ・応募はひとり5句まで
- ・入賞作品はひとり1句までとなります
- ・日本国内および海外に在住する小学生以上の方
- ・本人が創作した未発表で第三者の著作権を侵害しない作品に限ります
- ・個人情報が含まれていない作品に限ります

【薬剤耐性(AMR)あるある川柳 応募作品例】

- ・みんなにも 耐性菌は 自分ゴト
- ・冷蔵庫 いつのまにやら くすり箱
- ・抗菌薬 しっかり守る 飲む頻度

応募方法：作品と必要事項を記入の上、提出物を下記提出先までハガキ・封筒で郵送、またはAMR啓発情報 Webサイト (<http://amr.ncgm.go.jp/senryu>) 専用フォームでご応募ください。

書 式：郵送(ハガキまたは封筒)またはインターネットによる専用フォームにて受付ます。郵送の場合は下記の必要事項を記入の上、ご応募ください。

- ①作品
- ②ペンネーム（漢字はフリガナ明記）
本名（漢字はフリガナ明記）
- ③生年月日・年齢・性別
- ④郵便番号・住所・電話番号・メールアドレス

※応募作品の返却：応募作品は返却いたしませんのでコピー(控え)をとっておいてください。

提出先・問い合わせ先

〒150-0002
東京都渋谷区渋谷1-15-8 宮益ONビル 4F
第1回「薬剤耐性(AMR)あるある川柳」事務局 行
(株式会社カーツメディアワークス内)
TEL: 03-6427-1627 FAX: 03-6730-9713
Mail: amr-senryu@kartz.co.jp

応募期間：2017年11月1日(水)から12月20日(水)23:59まで(必着)

入賞発表：2018年2月中旬(予定) AMR啓発情報Webサイトにて発表。受賞者には賞品を発送します。

応募上のご注意

応募及び入賞作品は、当主催者のWebサイト・SNS・報道資料等、広告広報活動の素材として使用することがございます。ご了解のうえ、ご応募ください。

<本件に関する報道関係者からのお問合せ先>

AMR臨床リファレンスセンター広報事務局 担当：小石、佐藤、木下
TEL: 03-6427-1627 FAX: 03-6730-9713 E-Mail: info@kartz.co.jp

AMR対策について

抗菌薬・抗生物質の不適切、不十分な飲み方をすると、抗菌薬が効かない細菌が生まれてしまうことがあります。これが薬剤耐性菌です。

薬剤耐性菌を増やさないためにも下記のような知識と行動が必要です。

【あなたに知ってほしいこと】

- ・ 抗菌薬は細菌感染症に対する薬である
- ・ 普通の風邪はウイルスが原因で起こる疾患であり、抗菌薬は効かない
- ・ 抗菌薬には副作用もある
- ・ 抗菌薬は必要なときに限ってきちんと使うことが大切

【すぐにできる6つの薬剤耐性予防】

今から出来る6つの薬剤耐性予防



抗菌薬は医師の
処方箋が必要です



抗菌薬は医師の
指示通り飲みきる



抗菌薬をとって置いて
あとで飲まない



抗菌薬を
あげない、もらわない



わからないことは
医師や薬剤師に聞こう



感染症を予防しよう

薬剤耐性(AMR)の拡大を防ぐためにも、抗菌薬を服用する際は医師や薬剤師の指示を守って、必要な場合に、適切な量を適切な期間、服用しましょう。

<本件に関する報道関係者からのお問合せ先>

AMR臨床リファレンスセンター広報事務局 担当：小石、佐藤、木下
TEL：03-6427-1627 FAX：03-6730-9713 E-Mail: info@kartz.co.jp